

近畿木材利用建築促進フォーラムの開催について

循環型社会の形成に向けて、豊富な森林資源を幅広い用途に循環利用するためには、新たな木材需要の拡大に積極的に取り組む必要があります。わが国においては、木造建築物は2階建てまでの住宅が主流であり、木材利用促進の観点からは、中大規模建築物についても木造化・木質化を図ることが重要です。

そこで、建築物への木材の利用に取り組むリーディング企業や第一人者による木造化・木質化された建築物の高付加価値化・差別化についての情報提供やパネルディスカッションを通じて、近畿圏内における建築物への木材利用を一層促進することを目的として、近畿木材利用建築促進フォーラムを開催しました。

- 日時：平成30年2月15日(木)14:00～17:30
- 場所：林野庁 近畿中国森林管理局 4階大会議室
- 主催：林野庁 近畿中国森林管理局
国土交通省 近畿地方整備局
関西広域木造建築普及促進協議会 の3者で共催
- 参加：161名(建築関連事業者23%、木材関連事業者19%
地方公共団体14%、不動産関連事業者9%
マスコミ4% 等)



林野庁
近畿中国森林管理局
高野局長 挨拶



国土交通省
近畿地方整備局
安部副局長 挨拶



基調講演

「最近の都市木造建築の動向と今後の展望について」
五十田 博 教授(京都大学)



取組紹介

「JAS機械等級区分構造用製材品による大規模木造建築物等」 吉良 靖男 氏(株式会社 紅中)



取組紹介

「中大規模賃貸用不動産への木造(CLT)床の活用」
柳瀬 拓也 氏(三菱地所株式会社)



取組紹介

「木造(CLT)床を中大規模建築物に適用する際の技術的工夫等」
小林 道和 氏(株式会社竹中工務店)



取組紹介

「高齢者向けの住まいづくりにおける木造化の取組」
今井 邦夫 氏(アーク不動産株式会社)



取組紹介

「はじめよう！中大規模木造」
小原 隆 氏(日経BP社)

パネルディスカッション



左から 小原 隆氏(日経BP社)[進行]、五十田 博氏(京都大学)、吉良 靖男氏(株式会社紅中)、柳瀬 拓也氏(三菱地所株式会社)、小林 道和氏(株式会社竹中工務店)、今井 邦夫氏(アーク不動産株式会社)